

タイトル	作者	出版社
内容		
あいうえおうさま	寺村輝夫文 和歌山静子絵	理論社
抄録: あいうえおうさま、あさのあいさつ。あくびをあんぐり、ああ、おはよう。王さまのキャラクターが活躍する、言葉遊びと絵探しが楽しめる絵本の大型版。		
ありとすいか	たむらしげる作・絵	ポプラ社
抄録: ある暑い夏の午後、ありがすいかをみつけてやってきました。これはうまいぞ、巢に運ぼう、ということになりました。さて…。人気絵本作家の原点となった鮮やかでユーモラスな作品。		
あるのかな	織田道代作 飯野和好絵	鈴木出版
抄録: みみずにみみはあるのかな? おおかみにかみのけは? あめだまにめだまは? デコレーションケーキにおでこあるのかな? 言葉遊びが楽しい絵本。		
アレクサンダとぜんまいねずみーともだちをみつけたねずみのはなし	レオ＝レオニ作 谷川俊太郎訳	好学社
抄録: ねずみのアレクサンダは、みんなにちやほやされる、おもちゃのぜんまいねずみのウイリーがうらやましい。自分をぜんまいねずみに変えてもらおうと、魔法のとかげに会いに行くが…。思いやりと友情を伝える、心温まる絵本。		
いたずらラッコとおなべのほし	神沢利子文 長新太絵	あかね書房
抄録: 仲間から離れて遠くの海へやってきたラッコとレッコ。すると、突然天から大きなおなべが落ちてきて、ふたりをすくいあげた…。		
うみキリン	あきやまただし作・絵	金の星社
抄録: 渡り鳥の大好きな友だちは、海にいるちょっと変なキリン、うみキリン。うみキリンの背は、富士山の3倍くらい。でもうみキリンの子どもはとっても小さくて…。読み聞かせにぴったりな大型絵本。		
えらいえらい!	ますだゆうこぶん 竹内通雅え	そうえん社
抄録: くつは、えらい。なんでえらい? まいにちいっぱいあるから。じめんはえらい。なんでえらい? どんなにふんづけてもこわれないから。みんなみんな、えらいこっちゃ、えらいこっちゃ。はくしゅ～! うたいながらよめる「がくふ」つき。		
おおきなかぶーロシア民話ー	A. トルストイ再話 内田莉莎子訳 佐藤忠良画	福音館書店
抄録: おじいさんの植えたかぶが大きく大きく育ちます。その大きなかぶを抜くために、おばあさん、孫娘、いぬ、ねこ、ねずみまで集まって…。トルストイによる、世界中で愛されるロシア民話。		
おおきなきがほしい	さとうさとるぶん むらかみつとむえ	偕成社
抄録: 「ぼく、おおきな木がほしいなあ」かおるのかんがえているおおきな木は、うーんとふとくて、おおきな木。だから、はしごをつけてのぼります。えだのうえには、ちいさなかわいいかおるのへやがあります。かおるは、ここでホットケーキをやいてたべるのです。そして、こやのうえには、りすのおやこのいえがあって…。		
おこだでませんように	くすのきしげのり作 石井聖岳絵	小学館
抄録: ぼくはいつも、家でも学校でもおこられる。どないしたらおこられへんのやろ。どないしたらほめてもらえるのやろ。ぼくは「悪い子」なんやろか…。そしてぼくは、たなばたさまにあるお願いをした。		
おこる	中川ひろたか作 長谷川義史絵	金の星社
抄録: 毎日怒られてばかりのぼく。なんでぼくは怒られるんだろう? なんで人は怒るんだろう? 怒ったからって、気持ちがすっきりするわけじゃないのに…。		
おじいちゃんのごらくごらく	西本鶏介作 長谷川義史絵	鈴木出版
抄録: ゆうたくんはおじいちゃんがだいすきでした。だいくさんだったおじいちゃんは、ゆうたくんに木のきかんしゃをつくってくれました。おふろにはいるのもいっしょです。おじいちゃんのおくぐせは「ごらくごらく」。こんど、やまのおんせんにいこうとたのしみになっていたのに、おじいちゃんはびょうきでいんしてしまいました。		

おじさんのかさ	佐野洋子作・絵	講談社
抄録: 黒くてピカピカの傘が自慢のおじさんは、雨の日でも決して傘をさすことはありません。「雨がふったら、ポンポロン」その声に合わせて、思わず傘を開いたおじさんは…。		
おしゃれなおたまじゃくし	塩田守男え さくらともこぶん	メイト
抄録: うさぎは洋服屋さん。素敵な服を作るので動物たちは大喜び。おたまじゃくしたちも欲しくなり、さっそくうさぎの洋服屋さんに頼みましたが…。		
おっばい	みやにしたつや作・絵	鈴木出版
抄録: 柔らかくてあったかいお母さんのおっばい。大きく優しく強く元気な子にしてくれた、ぼくの大好きなおっばい。象さんだって豚さんだっておっばい飲んで大きくなるよ…。		
おばけのてんぷら	せなけいこ作・絵	ポプラ社
抄録: うさこが、ご機嫌でてんぷらを揚げていると、においにつられた山のおばけが、そーっとしのびこんできました。さあ大変！		
おばけのバーバパパ	アネット＝チゾンさく タラス＝テイラーさく やましたはるおやく	借成社
抄録: 体のかたちを自在に変えられるバーバパパ。独特のぬくもりとユーモア感覚が、今なお新鮮な傑作ロングセラー絵本を大型化。すてきな町並みやバーバパパを大画面上で堪能できます。		
おばけパーティ	ジャック・デュケノワさく おおさわあきらやく	ほるぷ出版
抄録: おばけのアンリが、ともだちみんなをおもてなし。どんなごちそうがでるのかな？ おばけって、お料理たべたらどうなるの？		
おべんとくん	真木文絵作 石倉ヒロユキ絵	チャイルド本社
抄録: おべんとくんがでかけたよ。野原でおべんとう食べようって。でも、ちょっぴりあわてもののおべんとくんは…。		
おまえうまそうだな	宮西達也作・絵	ポプラ社
抄録: 恐竜の赤ちゃんが、ひとりぼっちでさみしくて泣いていると、「おまえうまそうだな」と声がして…。お父さんにまちがえられた大きな恐竜と、あかちゃんのおまえの愛情の物語。		
おやおや、おやさい	石津ちひろ文 山村浩二絵	福音館書店
抄録: 今日は野菜たちのマラソン大会。「そらまめ、そろって、マラソンさ」「りっぱなパセリは、つっぱしる」など、韻を踏んだようなユーモアのある言葉が楽しい絵本。		
かたあしだちょうのエルフ	おのきがく文・絵	ポプラ社
抄録: 強くて大きなだちょうのエルフは、子供たちを背中に乗せてドライブする人気者。でもある日子供たちを守ってライオンとたたかったエルフは、大切な脚を一本食いちぎられてしまいます…。		
かばくん	岸田衿子さく 中谷千代子え	福音館書店
抄録: 日曜日、寝ぼすけかばくんのもとに子供たちがやってきます。男の子に連れられて、かめくんもやってきました…。かばくんの一日を簡潔でリズムカルなことばと存在感ある美しい絵で描く絵本。		
からすのパン屋さん	かこさとし絵と文	借成社
抄録: 泉が森のからすのパン屋さんは、子どもたちの意見を参考に、すてきな形のパンをどっさり作りました。おかげで店先で大騒動が…。		
かわいそうなぞう	つちやゆきおぶん たけべもといちろうえ	金の星社
抄録: 戦時中のことです。もし爆弾が動物園に落ちて、動物たちが町中に暴れ出しては大変と、動物たちは次々に毒殺されていきました。とうとう、人気者のぞうトンキーとワンリーの番になり…。		

ガンピーさんのふなあそび	ジョン・バーニンガムさく みつよしなつややく	ほるぷ出版
抄録:ガンピーさんが小舟で出かけました。途中で、子ども、ウサギ、ネコ、イヌ、ブタ、ニワトリたちが、つぎつぎに「乗せて下さい」とやってきて…。		
きたきつねのゆめ	手島圭三郎画・文	リブリオ出版
抄録:ここは北海道の山のなか、静かで寒い冬の森。ゆきうさぎを追っていた「きたきつね」は、月の光に輝くふしぎな森の入り口にたどりつきました。そこできたきつねが見たものは…。		
きつねのでんわボックス	戸田和代作 たかすかずみ絵	金の星社
抄録:にんげんのおとこのこが、でんわボックスでおかあさんとはなしをしていました。それをみたかあさんぎつねは、うしなってしまったこぎつねをおもいだし、やさしいきもちで、それからまいにち、でんわボックスにくるおとこのこをみまもることにしました。ところがあるひ、でんわボックスがなくなるとして…。		
キャベツくん	長新太文・絵	文研出版
抄録:キャベツくんが歩いていると、ブタヤマさんにあいました。「キャベツ、おまえをたべる」とブタヤマさん。「ぼくをたべると、キャベツになるよ」とキャベツくん。そして空には鼻(はな)がキャベツになったブタヤマさんが!じゃあ、キャベツをへびが食べると?ゴリラが食べると? ナンセンスな会話が楽しい絵本です。		
999ひきのきょうだい	木村研文 村上康成絵	チャイルド本社
抄録:かえるのお母さんが999このたまごをうみました。その中でいつまでたってもかえるにならない、おたまじゃくしのお兄ちゃん。へびに狙われ、逃げて逃げて…。		
999ひきのきょうだいのおひっこし	木村研・文 村上康成・絵	チャイルド本社
抄録:暖かなある日、たまごから999匹のおたまじゃくしが生まれました。兄弟はぐんぐん大きくなって、立派なかえるになりました。おかげで小さな池はぎゅうぎゅうになり、お引越しをすることに…。		
きょうはなんてうんががいいんだろう	宮西達也作・絵	鈴木出版
抄録:狼のウルは、森でお昼寝中のたくさんのこぶたたちを見つけて大喜び。でも自分だけじゃ食べきれないと、友だちの家に知らせにいくと、みんながおいしいものをごちそうしてくれて…。		
きよだいなきよだいな	長谷川摂子作 降矢なな絵	福音館書店
抄録:広い野原の真ん中に、巨大なピアノがあったとさ、そこへ子どもが100人やってきて…。次々に巨大なせっけん、巨大な電話、巨大なトイレトペーパー、巨大なびんが出てくるお話。うたうようなリズムの文体の絵本。		
きんぎょがにげた	五味太郎作	福音館書店
抄録:きんぎょがにげた、どこににげた?きんぎょばちから、ピンクいろでまんまるの、かわいいきんぎょが、とびだしました。カラフルなキャンディーのびんのなかに、おおつぶのイチゴのそばに、そして、おへやのどこかに、かくれていますよ。さがしてみましょ。カラフルでとびっきり楽しい絵本の世界へと誘われます。		
くじらだ!	五味太郎作・絵	岩崎書店
抄録:くじらなんて見たこともない村に突然おこったくじら騒動。村の湖をいろいろさがしても見つかりません。でも空から見ると…。		
くだものいろいろかくれんぼ	いしかわこうじ作・絵	ポプラ社
抄録:まんまるのボールみたいなのは、なにかな? 食べるとサクサク、赤くて、おいしいりんごでしたー。いろいろな形の穴のあいたページをめくると、くだものがつぎつぎと現れる。楽しく遊べるしかけ絵本。		
くまのコールテンくん	ドン・フリーマンさく まつおかきょうこやく	偕成社
抄録:おもちゃ売場のつりひものボタンがとれた熊のお人形、コールテンくんを買っていこうとする人は誰もいません。ところがある朝…。コールテンくんと少女リサとの心のふれあいを描く絵本。		
ぐりとぐら	なかがわりえこ[さく] おおむらゆりこ[え]	福音館書店
抄録:森の中で大きな卵を見つけた「ぐりとぐら」は、ふわふわの大きなカステラを焼くことにします…。		

ぐりとぐらのえんそく	中川李枝子文 山脇百合子絵	福音館書店
抄録: のねずみのぐりとぐらは、歌を歌いながら林を通り抜け、野原へ行きました。お昼になるまでの間、マラソンをしていると2人は足に毛糸が絡まり、転んでしまいました。その毛糸をまいていくと…。		
ぐりとぐらのおきゃくさま	中川李枝子文 山脇百合子絵	福音館書店
抄録: 雪合戦をしていたぐりとぐらは、雪の上に大きな長靴の跡を見つけました。足跡は森を抜けて原っぱを通り、ぐりとぐらの家のドアの前で消えています。いったい誰の足跡なのでしょう？		
グリーンマントのピーマンマン	さくらともこ作 中村景児絵	岩崎書店
抄録: お魚大好き。お肉も大好き。野菜もパンも大好き。だけど、たったひとつ嫌いなものがある。それはピーマン。みんなが寝ている夜のこと。バイキンたちがやってきて…。		
ぐるんぱのようちえん	西内みなみさく 堀内誠一え	福音館書店
抄録: ぐるんぱは、とても大きなぞうです。ぐるんぱには、おおきい体のせいで、すべてのことが悪いことになるという問題があつて…。		
月ようびはなにを食べる？－アメリカのわらべうた－	エリック・カールえ もりひさしやく	偕成社
抄録: 今日は月よう日、何食べる？ アメリカのわらべ唄が、エリック・カールの生命力に満ちた動物たちの登場で力強い絵本になった。巻末の楽譜により、歌いながらページをめくることができる。		
こすずめのぼうけん	ルース・エインズワース作 石井桃子訳 堀内誠一画	福音館書店
抄録: 翼をぱたぱたさせることができるようになった小雀に、お母さん雀が飛び方を教え始めました。「もっと遠くまで飛んでいける」と思った小雀は羽をいよいよ速く動かして飛んでいきますが…。		
ころころころ	元永定正さく	福音館書店
抄録: ころころころ、かいだん道、あかい道、でこぼこ道、さか道、あらしの道…。いろいろな道を、小さな色玉たちが、ころがっていく。鮮やかな色の世界を楽しむ大型絵本。		
こわーいはなし	せなけいこ作・絵	鈴木出版
抄録: ゆきのふるひに、ちいさなおばけが、やまのなかでまいごになりました。「もしもし、ちょっとおたずねします」おばけにみちをきかれたうさぎはおどろいて、なかまたちのところへにげました。そして、おばけが、おおきなめだまでぎろりとにらんだとはなしをしますが…。		
サンドイッチサンドイッチ	小西英子さく	福音館書店
抄録: サンドイッチサンドイッチ、さあつくろう。サンドイッチサンドイッチ、ふわふわパンに、なにのせる？はじめにバターをたっぷりぬって、つぎにレタスののっけよう。まっかなトマトもおいしそう。さて、どんなサンドイッチができあがるのかな？		
三びきのこぶた－イギリス昔話－	瀬田貞二やく 山田三郎え	福音館書店
抄録: 自分たちの家をつくることになった三びきのこぶたたち。最初のぶたは「わら」で家を、次のぶたは「えだ」で家をたてますが、おおかみに壊されてしまいます。最後のぶたは「レンガ」で家をたてました。おおかみがやってきて…。		
三びきのやぎのがらがらどん－ノルウェーの昔話－	マーシャ・ブラウンえ せたていじやく	福音館書店
抄録: 谷をわたろうとするやぎの兄弟「がらがらどん」たちに襲いかかるトルル。3匹の兄弟やぎと魔物との知恵比べは…。ノルウェーの昔話を迫力のあふれる絵で楽しめる絵本。		
しげちゃん	室井滋作 長谷川義史絵	金の星社
抄録: 「わたし、じぶんの名前、キライ！」男の子みたいな名前のせいでしょっちゅういやな目にあっている小学1年の女の子しげるは、お母さんに「もっとかわいい名前にかえてよ」と言いますが…。		
じしんだ！(子どもをまもる大きな絵本シリーズ 防災)	ラビッツアイ文・構成 白土あつこ絵 国崎信江監修	チャイルド本社
抄録: じしんにくわしいなまず先生といっしょに、じしんについて考えよう！日本はじしんがおおい国。じしんでいろんなことがおきるね。なにがおきるかな？あぶないところはどこかな？じしんがおきたらどうしたらいい？子どもたちとやりとりをしながら、じしんと防災について楽しく学べる大型絵本。		

しっぽのはたらき	川田健ぶん 藪内正幸え 今泉吉典監修	福音館書店
抄録:物をつかむ、バランスをとる、気持ちを表現するなど、しっぽにはいろいろな働きがあります。たくみな構成と克明な絵で、動物観察の面白さを伝えます。		
じゃんけんぽん	せなけいこ作・絵	鈴木出版
抄録:空の上で太陽と雲がじゃんけんをしました。雲が勝って雪が降ると、子どもたちはおよろこび。その子どもたちがゆきだるまとじゃんけんをすると…。みんながじゃんけんでつながっていく楽しい物語。		
しゅっぱつしんこう!	山本忠敬さく	福音館書店
抄録:おかあさんとみよちゃんは、おおきなえきから、とつきゆうれっしやにのりこみました。これから、おじいさんのいえへゆくのです。とつきゆうれっしや、しゅっぱつしんこう!ぐんぐんすぴーどをあげてはしる、とつきゆうれっしやは、てつきょうのうえで、でんききかんしゃとすれちがい…。		
しりとりのだいすきなおうさま	中村翔子作 はたこうしろう絵	鈴木出版
抄録:お城に住んでいる王様は、しりとりが大好き。食事の料理もしりとりの順番に出てこないとご機嫌ななめ。しかも最後は決まってプリン。毎日、献立に苦労している家来たちは…。		
スイミー—ちいさなかしこいさかなのはなし—	レオ=レオニ作 谷川俊太郎訳	好学社
抄録:泳ぐのが誰よりも速い魚スイミー。ある日、恐ろしいまぐろに襲われて、兄弟たちが1匹残らず飲み込まれてしまった。逃げたのはスイミーだけで…。		
すてきな三にんぐみ	トミー=アンゲラーさく いまえよしともやく	偕成社
抄録:黒マントに黒い帽子がトレードマークで、宝集めに夢中だった三人組の泥棒が、すてきなことを思いつきました…。国際アンデルセン賞受賞画家のロングセラー絵本を大型化。大胆な構図・明快な画面がより魅力的に。		
すみっこのおばけ	武田美穂作・絵	ポプラ社
抄録:ぼくの秘密をおしえてあげようか? ぼくのへやの机の下に、小さなおばけがすんでるの。白くて、ふわふわ、綿菓子みたいなやつなんだ。ぴかぴか、ちかちか光るんだ。ぼくと小さなおばけのお話。		
せんたくかあちゃん	さとうわきこ作・絵	福音館書店
抄録:せんたくの大きな大好きなかあちゃんがいました。家中のものばかりか、猫も犬もソーセージもげたも子供たちもみんな洗って干していると、おへそを取りにきたかみなりさまが落ちてきて…。		
せんろはつづくどこまでつづく	鈴木まもる文・絵	金の星社
抄録:赤い機関車が走れるように、こどもたちが線路をしいています。すると、新幹線がのっている線路を見つけました。線路をつなげたら、連結器をだして、赤い機関車と新幹線をつなげます。かたたんたん、と、走っていくと、今度は、貨物列車を見つけました。これもつなげられるでしょうか?		
せんろはつづくまだつづく	竹下文子文 鈴木まもる絵	金の星社
抄録:線路はつづく、まだまだつづく。工事中の線路、高い崖、お客さん…。さあ、みんなならどうする? リズミカルな文と可愛い絵で、読み聞かせにぴったりの大型絵本。		
ぞうくんのさんぽ	なかのひろたかさく・え なかのまさたかレタリング	福音館書店
抄録:散歩にでかけたぞうくんは、とちゅうで出会ったかばくんとわにくんとかめくんを背中にのせて…。明るい色彩と単純にデザイン化した絵が、この愉快的な散歩に子どもたちを誘います。		
そらまめくんのベッド	なかやみわさく・え	福音館書店
抄録:そらまめくんの宝物はベッド。くものようにフワフワで、わたのようにやわらかい。えだまめくんたちがうらやましがりますが、ぜったいに使わせようとしません。ところが、そのベッドがなくなってしまう。		
そらまめくんのぼくのいちにち	なかやみわさく・え	小学館
抄録:雲のようにふわふわで、わたのようにやわらかい、たからもののベッドで今日も気持ちよく目がさめたそらまめくん。顔をあらってあさつゆを飲んだら、今日はなにをして過ごそうかな?		

たまごにいちゃん	あきやまただし作・絵	鈴木出版
抄録: 本当はもうたまごから出ていないといけない、たまごにいちゃん。でも、たまごにいちゃんは、ずーっとたまごでいたいと思っていました…。		
たまごにいちゃんぐみ	あきやまただし作・絵	鈴木出版
抄録: たまごのままで大きくなって、1人で大きなカラスをやっつけた「伝説のたまごにいちゃん」に憧れる、たつくん、まーくん、ごーくん。たまごのままで、ヒーロー目指して大奮闘！ だけど殻が割れちゃって…？		
たまごのあかちゃん	かんざわとしこ・ぶん やぎゆうげんいちろう・え	福音館書店
抄録: たまごが、みつつならんでいます。かくれんぼしている、あかちゃんはだあれ？ ぴっぴっぴ。にわたりのあかちゃん、こんにちは。たまごが、よつつならんでいます。かくれんぼしている、あかちゃんはだあれ？ よちよちよち。かめのあかちゃん、こんにちは。いろいろなどうぶつなあかちゃんが、とうじょうします。		
たまごのえほん	いしかわこうじ作・絵	童心社
抄録: しろいたまごが、ぱりっ、ぱりっとなわて、ぴよ、ぴよぴよ。かわいいひよこがうまれたよ！ まんまるのたまごが、ぺりっ、ぺりっとなわて、ちゃぷ、ちゃぷちゃぷ。うみがめのあかちゃんがうまれたよ！ さて、ちっちゃなたまご、ながいたまご、とんがりたまご、おおきなたまごからは、どんなあかちゃんが、うまれてくるのでしょうか…。		
だるまさんが	かがくいひろしさく	ブロンズ新社
抄録: どてっ。ぷしゅーっ。ぷっ。びろーん。にこっ…。だ・る・ま・さ・ん・が…頁をめくって、あらら、びっくり、大わらい。とびきりゆかいなだるまさんの大型絵本。		
だるまさんと	かがくいひろしさく	ブロンズ新社
抄録: いちごさんと、ぺこっ。ばななさんと、ぼにん。だるまさんが、いろいろなお友だちと面白いポーズを決めてるよ。めろんさんとは、どんなポーズをするのかな？ とびきりゆかいなだるまさんの大型絵本。		
だるまさんの	かがくいひろしさく	ブロンズ新社
抄録: だ・る・ま・さ・んの…め。だ・る・ま・さ・んの…て。だ・る・ま・さ・んの…。変幻自在のだるまさん、今度は何をみせてくれるかな。		
だるまちゃんとかみなりちゃん	加古里子さくえ	福音館書店
抄録: だるまちゃんが遊びに行こうとすると、雨が降ってきて、ちいさなかみなりちゃんが落ちてきました。かみなりちゃんと仲良くなっただるまちゃんは、雲に乗って…。		
だるまちゃんてんぐちゃん	加古里子さくえ	福音館書店
抄録: だるまちゃんは、てんぐちゃんの持っているうちわ、ぼうし、はきものが欲しくなりました。そこで、やつでの葉っぱ、おわん、おもちゃのまな板を使って…。		
たろうくんのじどうしゃ	山本忠敬作・絵	チャイルド本社
抄録: たろうくんの描いた自動車は、たろうくんがいなくなると、「ぶぶーっ」と走りだしました。さて、何に出会うのかな？ ミニページやワイドページで次々に自動車に変化していく仕掛けが楽しい。		
ダンゴムシみつけたよ	皆越ようせい写真・文	ポプラ社
抄録: コロコロ丸まるダンゴムシ。どこに棲んでいるのかな？ 何を食べているのかな？ 驚きいっぱい、小さな虫の世界。さあ、虫眼鏡を持って、ダンゴムシを探しにいこう。写真絵本。		
ちいさなきいろいかさ	にしまきかやこイラスト もりひさしシナリオ	金の星社
抄録: なっちゃんがお母さんに買ってもらった黄色い傘。うさぎさん、りすくんも入りなさい。胴長のだっくすくんは入れないかな？ すると傘が広がって…。		
ちいさなくれよん	篠塚かをり作 安井淡絵	金の星社
抄録: 折れて短くなった黄色いくれよんが、くずかごの中に捨てられました。「ぼく、まだかけますよ」モノや命の大切さを子どもたちに伝えます。		

ちいちゃんのかげおくり	あまんきみこ作 上野紀子絵	あかね書房
抄録: 出征するお父さんから「かげおくり」というあそびを覚えてもらった、ちいちゃん。ある夏の夜、空襲でお母さんたちとはぐれてしまったちいちゃんが防空壕でみんなを待っていると、お父さんの声が聞こえてきて…。		
ちか100かいだてのいえ	いわいとしお〔作〕	借成社
抄録: 地下100階でパーティがあるから遊びにこない? クウちゃんは、誰かから誘われ、思い切って行ってみることに。地下100階までたどりつけるかな? 大迫力の長さ1メートル以上の超大型絵本。		
ちからたろう	いまえよしもぶん たしませいぞうえ	ポプラ社
抄録: 貧しいじいさまとばあさまのこんび(あか)からできた、ちからたろう。同じ力自慢のみどうっこたろうといしこたろうを仲間にしてばけものをやっつけ、田畑を耕して皆を幸福にします。		
ちびゴリラのちびちび	ルース・ボーンスタインさく いわたみみやく	ほるぷ出版
抄録: 赤ちゃんゴリラのちびちびは、生まれたその日から、家族とジャングルみんなに愛されます。子供達が、大人に「こんなふうにあいしてほしい」と思っているやり方を描いた絵本。		
ちゅーちゅー	宮西達也作絵	鈴木出版
抄録: お昼寝から目を覚ました3匹の子ねずみの前にいたのは、大きなねこ。びっくりした子ねずみたちでしたが、そのねこは、ねずみを見たことがありませんでした。子ねずみたちは、ねこをだまそうと…。		
てぶくろ	エウゲーニー・M.ラチョフ絵	福音館書店
抄録: 雪の降り積もる森で、おじいさんがてぶくろを片方落としました。すると、ねずみ、かえる、うさぎたちが、てぶくろの中に次々とめぐりこみ…。ウクライナの昔話を迫力のある絵で楽しめる大型絵本。		
でんしゃでいこうでんしゃでかえろう	間瀬なおかた作・絵	チャイルド本社
抄録: 山の駅から海の駅へ。次々に景色が変わる様子が楽しめる。後ろからも読むことができ、また電車に乗って山の駅まで帰ることもできる絵本。		
でんしゃにのって	とよたかずひこ著	アリス館
抄録: うららちゃんは、ひとりで電車に乗っておばあちゃんの所へでかけます。その電車には、ワニさんやクマさん、ゾウさんたちが、次々と乗りこんできて…。		
ドアがあいて…	エルンスト・ヤンドゥル作 ノルマン・ユンゲ絵 斉藤洋訳	ほるぷ出版
抄録: ひっそりとした待合室。おもちゃの病院で順番を待っているおもちゃたち。患者さんがひとりずつ減っていく。中の先生はどんな人なのかな? ちょっとドキドキ、ちょっと心配…。		
どうぞのいす	香山美子作 柿本幸造絵	チャイルド本社
抄録: うさぎさんがいすをつくり、そばに「どうぞのいす」という立て札をたてました。ある日、ろばさんがやってきて、いすにどんぐりを置いて木の下で一休みしていると…。		
どうぶついろいろかくれんぼ	いしかわこうじ作・絵	ポプラ社
抄録: きいろの なかに かくれている どうぶつ なーんだ。どうぶつの おうさまだよ。「がー」って ほえるよ。ページを めくると みつかった! ライオンでした。ほかに、かくれている どうぶつが たくさん。きみは いくつ わかるかな? 楽しく遊べるしかけ絵本。		
どうぶつしんちょうそくてい	聞かせ屋。けいたろう文 高畠純絵	アリス館
抄録: 今日は動物園の身長測定です。うさぎやカンガルー、キリンがならんで順番を待っています。一番最初に測るのは、うさぎ。動物たちは、じょうずに測れるでしょうか?		
どうぶつたいじゅうそくてい	聞かせ屋。けいたろう文 高畠純絵	アリス館
抄録: 今日は動物園の体重測定です。パンダやぶた、ぞうがならんで順番を待っています。一番最初に測るのは、パンダ。動物たちは、じょうずに測れるでしょうか? 動物たちの迫力のある絵が楽しい大型絵本。		

となりのたぬき	せなけいこ作・絵	鈴木出版
抄録:となりのたぬきがきれい。いじわるだからだいきらい。きれいなきれいなたぬきを、お月さまがやっつけてくれるというので、うさぎはお月さまとある約束をしました。		
とべバツタ	田島征三作	借成社
抄録:天敵から身を守るために茂みに住んでいたバツタが決心し、大空へ向って飛んでいく…。		
ともだちやーおれたち、ともだち！ー	内田麟太郎作 降矢なな絵	借成社
抄録:ある日、キツネは「友だち屋さん」を始めることを思いつきました。1時間100円で友だちになってあげるのです。森で一番のさびしんぼうのキツネは友だちを上手に作れるでしょうか。		
どんぐりころちゃん	みなみじゅんこ作	アリス館
抄録:だあれかな? 葉っぱの間から顔を出した、どんぐりころちゃん。頭はとんがって、おしりはぺっちゃんこ。どんぐりはちくりしょ。ぽーんと木から地面に飛び降りると…。巻末に楽譜と遊び方付き。		
どんぐりたろうのき	鶴見正夫作 黒井健絵	佼成出版社
抄録:秋、どんぐりたろうは、お母さんの木からころげ落ちていろいろな経験をします。やがてたろうは芽を出し、若木となって自立します…。		
なつのいちにち	はたこうしろう作	借成社
抄録:暑い暑い夏の日。今日は絶対つかまえる。ぼくがひとりで捕まえる。虫取りあみを持って家を出たぼくは、クワガタムシのいる谷へ向かって走った…。ページをめくるたびに夏があふれだす絵本。		
なにをたべてきたの?	岸田衿子文 長野博一絵	佼成出版社
抄録:しろぶたくん、そんなに急いでどこへ行くの? ぼく、なにか食べにいくところ。りんごを食べたしろぶたくん。おや? いつもと少し違うみたい…。		
にじいろのさかな	マーカス・フィスター作 谷川俊太郎訳	講談社
抄録:虹色に輝く鱗を持つ世界で一番美しい魚。でもひとりぼっち。僕はこんなにきれいなのに、どうして誰も好きになってくれないの? たこのおばあさんが教えてくれたその悩みの解決法は何だったのでしょうか。		
にじいろのしまうま	こやま峰子作 やなせたかし絵	金の星社
抄録:虹色のしまうまは、森で仲間と仲良く暮らしています。あるとき、雨が降らない日が続き、しまうまは、自分の体の七色を捧げました…。仲間の大切さを伝える物語。		
にゃーご	宮西達也作・絵	鈴木出版
抄録:猫の怖さを知らない子ねずみ三匹に、見るからに恐ろしい大猫が「にゃーご!」と襲いかかりますが…。		
にんじんとごぼうとだいこん	和歌山静子絵	鈴木出版
抄録:にんじんとごぼうと大根は、ある日お風呂に入ることに。にんじんはじっくり入り、ごぼうはさっさと出て、大根は体をごしごし洗ったので…。野菜の色にまつわる民話を楽しく描く。		
ねずみくんのチョッキ	なかえよしを作 上野紀子絵	ポプラ社
抄録:ねずみくんのお母さんが編んでくれたチョッキを、さるやライオンやぞうたちが次々に「いいチョッキだね。ちょっと着させて。すこしきついが似合うかな?」 チョッキはだんだん伸びていって…。		
ねずみのいもほり	山下明生作 いわむらかずお絵	チャイルド本社
抄録:ねずみの7つごたちは、おとうさんと、いもほり大会に行きました。いもほり農園につくと、あとからあとから、いろんな動物たちがあつまってきます。いちばん大きないもをほるのは、だれ?		

ねずみのかいすいよく	山下明生作 いわむらかずお絵	チャイルド本社
抄録:ねずみの7つ子たちが、夏休みに海水浴にでかけることになりました。お父さんは、わんぱくな7つ子たちのために浮き輪を7つ作り、それぞれに長いひもをつけました…。		
ねずみのでんしゃ	山下明生作 いわむらかずお絵	チャイルド本社
抄録:ねずみの7つごたちは今日からちゅうがっこう。でもみんながっこうに行きたがりません。そこでおかあさんは…。大きく広がる折りこみページあり。		
のりたいな	みやまつともみさく	福音館書店
抄録:ゆうびんしゃ、ごみしゅうしゅうしゃ、たくはいしゃ、コンクリートミキサーしゃ…。町で見かける“はたらくるま”を貼り絵で描き、1台ずつ見開きで紹介する。		
のりものいろいろかくれんぼ	いしかわこうじ作・絵	ポプラ社
抄録:きいろの なかに かくれている のりもの なーんだ。ひとを いっぱい のせるよ。「つぎ、とまります。」って いうよ。ページを めくると ほら、でてきた。バスでした。ほかに、かくれている のりものが たくさん。きみは いくつ わかるかな? 楽しく遊べるしかけ絵本。		
ばけばけばけばけばけたくん	岩田 明子／ぶん・え	大日本図書
抄録:くいしんぼうのおばけ、ばけたくん。夜中におうちでつまみぐい。ペロペロキャンディーをなめると…。次々に子どもの大好きな食べものにばける「ばけたくん」と、リズム感のある文章が楽しい大型絵本。		
はじめてのおつかい	筒井頼子さく 林明子え	福音館書店
抄録:子どもがいつか必ず経験する、はじめてのおつかい。ひとりのおかあさんが、子どもの体験をもとにつくったお話を、さわやかな絵本にしあげました。		
はじめてのおるすばん	しみずみちを作 山本まつ子絵	岩崎書店
抄録:3歳のみほちゃんが、ひとりではじめてのおるすばんをすることになりました。「ピン・ポーン」とチャイムがなりました。おや? だれだろう?		
はじめまして	新沢としひこ作 大和田美鈴絵	鈴木出版
抄録:はじめましてのごあいさつ ねこやまたろうともうします おひげが ぴんぴん はえています どうぞ これからよろしくね。歌にあわせて、みんなきちんとかいさつできるかな?		
ぱっくんおおかみときょうりゅうたち	木村泰子作・絵	ポプラ社
抄録:にわとりさんのたまごがひとつ転がった。あれあれ、たまごは穴の中…。たまごを追って、ぱっくんおおかみは穴の中へ。たどりついたのは、なんと、きょうりゅうの国でした。		
はっばのおうち	征矢清さく 林明子え	福音館書店
抄録:さちがにわであそんでいると、ほっぺたにあめがぼつんとおちてきました。でも、へいき。さちにはかくれるおうちがあるんだから。さちは、はっばのやねのおうちにかくれます。でも、そこにはかまきりがさきにはいっていました。ひらひらひら、もんしろちょうや、ごそごそ、こがねむしもあらわれて…。		
花さき山	斎藤隆介作 滝平二郎絵	岩崎書店
抄録:山菜をとりにいって、山んばに出会ったあや。やさしいことをすると美しい花がひとつ咲くという花さき山の感動のものがたり。		
はなすもんかー!	宮西達也作・絵	鈴木出版
抄録:きれいなヒモのようなものを道で見つけた、つちがえる君とあまがえる君。取り合いっこでつな引きに。あかがえる君、ひきがえる君も加わって、みんな「はなすもんかー!」ところが、何とヒモの正体は…。		
パパ、お月さまとって!	エリック・カールさく もりひさしやく	偕成社
抄録:「パパ、お月さまとって!」 モニカにせがまれたパパは、長いはしごをのぼってお月さまに会いにいけます。お月さまに着いたパパは…。ページが左右上下に広がる、しかけ絵本。		

はははのはなし	加古里子ぶん・え	福音館書店
抄録: 虫歯のせいで歯が痛むと、いっそ歯なんかなければいいと思いませんか? でも、歯がないと困ることがたくさんあるのです。歯の大切さと歯を丈夫に守る方法を、からだ全体との関連の中で楽しく伝えます。		
はらぺこあおむし	エリック・カールさく もりひさしやく	借成社
抄録: 月曜日、りんごをひとつ見つけて食べました。火曜日、梨をふたつ食べました…。		
はらぺこおおかみとぶたのまち	宮西達也作・絵	鈴木出版
抄録: はらぺこふらふらのおおかみがたどりついたところは、なんと、ぶたのまち。喜んだおおかみですが、ところがそこは、おおかみを食べてしまうぶたのまちだった…!? 思わず笑ってしまう、ユーモアあふれる絵本。		
バルボンさんのおでかけーワニのバルボンー	とよたかずひこ著	アリス館
抄録: みどりのワニのバルボンさん。天気の良い朝、おでかけです。「おはようございます」あいさつしながら、ゆっくりのんびり、バスにのっておでかけです。さあどこへいくのかな?		
半日村	斎藤隆介作 滝平二郎絵	岩崎書店
抄録: 一日のうち半日しか日があたらぬ半日村。その貧しい村に日をあてようとして、村のうしろにある高い山をけずる少年の一平…。		
ぴっけやまのおならくらべ	かさいまり文 村上康成絵	チャイルド本社
抄録: ぴっけ山みんなは、くらべっこがだいすきです。おならくらべをすることになって、ねずみは、おいもをたべて、たくさんおならを出そうとします。くまは、力を入れて大きなおとのおなら、つるは、きれいなおとのおなら、いたちは、くさいおならを出そうとします。さて、いちばんになったのは、だれのおならでしょう。		
100かいだてのいえ	いわいとしお[作]	借成社
抄録: 100階建てのてっぺんに住む誰かから、「遊びに来てね」と手紙をもらったトチくん。でも100階までたどりつけるかな…? 大迫力の長さ1メートル以上の超大型絵本。		
ぴよーん	まつおかたつひで作・絵	ポプラ社
抄録: かえるが、ぴよーん。いぬが、ぴよよーん。ばったが、ぴよーん。にわとりとひよこが親子でぴよーん。いろいろな生き物がとびはねる様子を描いた絵本。		
ふしぎなキャンディー屋さん	みやにしたつや作絵	金の星社
抄録: ブタくんが森の中でみつけたキャンディー屋さん。「ここにあるキャンディーをなめると、ふしぎなことが起こるよ」タヌキのおじさんにすすめられて、黄色いキャンディーをなめてみると…。		
ふしぎなタネ屋さん	みやにしたつや作絵	金の星社
抄録: ブタくんは森の中でふしぎなお店を見つけました。タネをうめるとふしぎなことが起こるといふタネ屋さんです。もらったタネをうめてみると、よきによきよきと木が生えてきて…。		
フレデリックーちょっとかわったのねずみのはなしー	レオ＝レオニ作 谷川俊太郎訳	好学社
抄録: 仲間の野ねずみたちが昼も夜もせつせと働き、食べ物を貯えている間、フレデリックだけは何もせず、ぼんやり過ごしているように見えました。やがて寒い冬が来て、食べ物が少なくなってくると…。		
へびくんのおさんぽ	いとうひろし作・絵	鈴木出版
抄録: へびくんが大きな水たまりを渡ろうとすると、いろんな動物が「背中を渡らせてもらえませんか?」ぞろぞろ、どかどか、どすどす…。		
ぺんぎんたいそう	齋藤楨さく	福音館書店
抄録: 「ぺんぎんたいそう、はじめよ。いきをすって～、はいて～」ユニークで愛らしいぺんぎんの動きは、まるで体操のよう。いっしょに身体を動かしてみよう!		

へんしんトイレ	あきやまただし作・絵	金の星社
抄録:「へんしんトイレ」というふしぎなトイレを使うと、なぜかみんなへんしんしちゃうんです。まこちゃんが「まこまこまこ…」と言いながら入ると、「こまこまこま」とこまになって出てきちゃう!		
へんしんトンネル	あきやまただし作・絵	金の星社
抄録:ふしぎなトンネルがありました。その名も「へんしんトンネル」。このトンネルをくぐると、あることばがちがうことばにかわるんです。「とけい」は「けいと」に、「ぼたん」は「たんぼ」に…。声にだしてよむとたのしい。自分でつくってみるともつとたのしい。ふしぎなことばあそび絵本。		
ぼくにげちゃうよ	マーガレット・W. ブラウンぶん クレメント・ハードえ いわたみみやく	ほるぷ出版
抄録:ある日、子うさぎは母さんうさぎに言いました。「ぼく、逃げちゃうよ」すると母さんうさぎが言いました。「おまえが逃げたら、母さんは追いかけますよ」…。		
ぼくのくれよん	長新太おはなし・え	講談社
抄録:これは くれよんです。でもね この くれよんは こんなに おおきいのですー。		
ぼんちんぱん	柿木原 政広作	福音館書店
抄録:ぱんぱんしょくぱん、ぼんちんぱん。ちぎちぎぱっぱで、ぼんちんぱん…。歌のようなリズムカルな言葉にあわせて、食ぱんや、あんぱんなどおいしいようなパンが登場!		
まどから★おくりもの	五味太郎作・絵	偕成社
抄録:窓をのぞいて、みんなにぴったりの贈り物を届けるサンタさん。穴あきのしかけもそのまま大きくなって、子どもたちを笑いの渦に巻き込みます。		
みんなうち	五味太郎さく	福音館書店
抄録:大きいぞうは大きいうち。小さいねずみは小さいうち。生きものは食べるから、みんなうちをするんだね。子どもにとって興味のある、そして大事な「うち」をユーモアいっぱいに描きます。		
めっきらもっきらどおんどん	長谷川摂子作 ふりやなな画	福音館書店
抄録:かんだが、じんじゃにあるあなにすいこまれてしまった。ついたところは、よるのやま。へんてこりんな3にんぐみ、もんもんびゃっこ、しっかかもつかか、おたからまんちんが、かんだに「あそぼうぜ」ととびついてきた。「いやだっ!ばけものなんかとあそぶかい」とかんだがいうと、3にんはなきだして…。		
もこもこもこ	谷川俊太郎作 元永定正絵	文研出版
抄録:「しーん」として何も無い地面が、「もこもこもこ」と盛り上がり、伸びてきた「によきによき」を「ぱく」。そして「ぼろり」…。ことばのリズムが楽しい名作絵本。		
モチモチの木	斎藤隆介作 滝平二郎絵	岩崎書店
抄録:おもての大きなモチモチの木がおっかなくて、夜ひとりではセツチンに行けない豆太。ある夜、ジサマの具合が悪くなり…。		
もったいないばあさん	真珠まりこ作・絵	講談社
抄録:もったいないばあさんが来るよ。お皿の上の食べ残し、お茶碗についたごはんつぶ。もったいなーいと言ってくるよ。ものを大切にする心がそだつお話。		
ももたろう	松居直文 赤羽末吉画	福音館書店
抄録:おばあさんが川で洗濯をしていると、大きな桃が流れてきた。中にはかわいい男の子が。「ももたろう」と名付けられた男の子は立派に成長し…。力強い絵とともに真の昔話の面白さが味わえる絵本。		
もりのおふろ	西村敏雄さく	福音館書店
抄録:もりのおくのおふろに、ライオンがやってきて、からだをきれいにあらいました。そこにゾウがやってきました。ライオンにたのまれて、ゾウがライオンのせなかをあらっていると、つぎにワニがやってきました。ゾウにたのまれて、ワニがゾウのせなかをあらっていると、こんどはブタのきょうだいが出てきて…。		

もりのかくれんぼう	末吉暁子作 林明子絵	借成社
抄録:おにいちゃんを追いかけて見知らぬ森にまよいこんだけいこは、不思議な男の子に誘われ、動物たちとかくれんぼをすることに…。かくし絵をともだちといっしょに楽しめる絵本。		
もりもりくまさん	長野ヒデ子作 スズキコージ絵	鈴木出版
抄録:なんでももりもりこなすくまさん。もりもり朝ごはんをおかわりしてから、もりもり夕食を食べるまで、一日中もりもり元気なくまさんの姿をユーモラスに描く。「もりもり」の繰り返しが楽しい大型絵本。		
やさいさん	tupera tupera作・絵	学研プラス
抄録:畑でやさいさんがかくれんぼ! やさいさん、やさいさん、だあれ。すっぱーん、と出てきたのは、にんじんさん。ページを上をめくると、カラフルなやさいさんたちが現れる、楽しい大型しかけ絵本。		
やさしいライオン	やなせたかし作・絵	フレーベル館
抄録:いつもぶるぶる震えているみなしごのライオン、ブルブルがいました。めす犬ムクムクに育てられたブルブルは、りっぱな、そしてやさしいライオンになり…。		
ゆうたはともだち	きたやまようこ作	あかね書房
抄録:おれ いぬ。おまえ にんげん。おまえ わらう。おれ しっぽふる。おまえ てで かく。おれ あしで かく。おまえ たたく。おれ かむ。おれと おまえ ぜんぜん ちがう。だけど すき。だから ともだち。ゆうたくんと ゆうたくんちのいぬは、おたがいちがうところばかりだけど、わかりあえるともだちです。		
よかったねネッドくん	レミー・シャーリップさく やぎたよしこやく	借成社
抄録:びっくりパーティに招待されたネッドくん。でもネッドくんの行く手をはばむ出来事が次々と起こって…。不運と幸運が交互にやってくるスリリングな冒険を描いたロングセラー絵本。		
よくばりすぎたねこ	さとうわきこ作・絵	メイト
抄録:ひよこを見つけて、ねこはしめしめと思いました。丸焼きにして食ってやろう。いや、まてまて、大きくしてから食べばいいじゃないか。いや、まてよ…。		
りんごがドスーン	多田 ヒロシ作・絵	文研出版
抄録:ドスーン!おおきなおおきなりんごが、のほらにおちた。もぐらがやってきて「もぐもぐもぐ、おーうまい」。ありがやってきて「みちやみちやみちや、あーおいしい」。りすと、うさぎと、ぶたもやってきて「しゃりしゃりしゃり、こりやあいける」。きつね、たぬき、わに、らいおん、くま、きりん、ぞうもやってきて…。みんな、おなかいっぱい!		
ろばさんのかわいいバッグ	香山美子作 柿本幸造絵	チャイルド本社
抄録:ロバさんがバッグを作ると、みんな大喜び。お弁当を入れて遠足に行くことになりました。けれどロバさんは自分のバッグを作るのを忘れていて、お弁当を用意する時間がありません。柔らかな絵で描く、心温まるお話。		
わゴムはどのくらい伸びるかしら?	マイク・サーラーぶん ジェリー・ジョイナーえ きしだえりこやく	ほるぷ出版
抄録:ある日、ぼうやは輪ゴムがどれくらい伸びるか試してみることにしました。部屋から外へ、バスで、車で、飛行機で、輪ゴムはどんどん、どんどん伸びて…。		
わにわにのおふろ	小風さちぶん 山口マオえ	福音館書店
抄録:わにわには、おふろがだいすきです。ほら、おふろにはいってきました。きゅるり、きゅるり、きゅるり。わにわにはじゃぐちをひねります。じゃばじゃばじゃば。おゆがたまります。ぽくん、ぽくん、ぷくん。いろいろなおもちゃをうかべて、たのしそう。わにわにといっしょに、おふろにはいりたくなるおはなし。		
わんわんわん	高島純作	理論社
抄録:いぬさんが1びき、わんわん、わんわん。そこにねこさんがあらわれて、ニャーゴ、ニャーゴ。ぶたさんもでてきて、ぶひっ、ぶひっ。みんなが、わんわん、ニャーゴ、ぶひっとないているところに、こんどは、うしさん、やぎさん、にわとりさんまででてきて、もうおおさわぎ。さて、さいごは、どうなるのでしょうか?		